

学習・情報センターとして情報発信の拠点となる学校図書館

福井県立若狭東高等学校

活用目的	利用指導	資料の活用	情報活用能力の育成
------	------	-------	-----------

本事例のねらい	学校DX推進の一環として、学校全体で独自の学校ポータルサイトを立ち上げ、学校・生徒間の連絡等をオンライン化し、学校図書館が学校の情報センターとしての主軸を担うことで、校内の情報を一括管理・運営するねらい。
---------	--

本事例の概要（学校図書館等を活用した項目に★印）

★令和元年度末における生徒一人1台タブレット端末の導入を契機に学校DXを推進する過程で、その活動拠点を学校図書館に設定し、図書館が持つ学習センター、情報センターとしての機能をより拡充させている。特に福井県初の取組である学校独自のポータルサイトを立ち上げ、日々の生徒への連絡事項をはじめ、図書館からのお知らせや新刊案内、蔵書検索と予約、生徒会からのお知らせ、保健だより、デジタル学習教材「ふくe刊」、アンケート機能等、全ての連絡事項を集約。学校・生徒間の連絡等をオンライン化し、図書館が管理・運営。読書活動促進ばかりでなく、生徒の安全・安心の確保と、教職員の多忙化解消にも寄与している。

★校内全PCの管理機能(アカウント管理・機器メンテナンス・トラブル対応・周辺機器整備等)すべての窓口を、CAI室ではなく職員(学校司書)が常駐している図書館に設定し、生徒・教職員とも、不具合や困ったことがあればすぐに図書館へ駆け込む体制を構築し、図書館が「第三の居場所」としての機能も果たしている。また、インクルーシブ教育推進のため、デジタル教材等のフォントやカラーに関する情報提供なども図書館から発信している。

<p>若狭東高校・ポータルサイト</p> 	<p>安心できる居場所（閲覧室）</p> 
--	---

本事例に関わった人(いる場合は○を選択してください)	実践のポイント
<input type="radio"/> 学校司書 <input type="radio"/> 司書教諭 <input type="radio"/> その他の学校職員 <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> 公共図書館職員 <input type="checkbox"/> その他 (その他の具体的な内容を入力してください)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がタブレット端末を立ち上げると自動的に学校ポータルサイトにアクセス。日々の情報確認や各種アンケート、図書の検索・予約が可能となっている。 ・学校ポータルサイトは、生徒のスマートフォンからも閲覧可能、緊急時の連絡も含め、学校の状況を「見える化」することですべての生徒の安心につながっている。

資料	
----	--